長崎市立滑石小学校　学校だより　Ｎｏ２

な・め・し通信





R8．5．２４　校長　栗山　幸彦

「最後まで全力で楽しい運動会にしよう」

運動会を参観いただき、ありがとうございました。子供たちが代表委員会で決めたスローガンどおりの運動会になったと思います。

プログラム１番の応援「心を一つに～滑石から元気を～」では、応援リーダーを中心に、気合の入ったエールで自らを鼓舞し、士気を高めました。

前半の「かけっこ・短距離走」では、出場した全員が、１番になれなくても、諦めずにゴールまで駆け抜けました。

後半は、各学年の団体競技・チャンス競技が続きました。「台風の目」「綱引き」「デカパンリレー」など、昔からの定番の競技で、見ていてほほ笑ましかったでです。低・中・高、２学年ごとの表現は、２学年１００名近くの全力の演技に迫力を感じました。それぞれの学年に応じたかわいらしさや、動きの切れ、気迫などに感動しました。

競技だけでなく、リーダー６年生とアシスト５年生が、係の仕事をしっかりと果たしてくれたことでスムーズな進行ができました。また、保護者の皆様のご協力にも感謝です。親父の会や育友会の皆様が会場の設営・撤収、近隣の見回り、清掃などをしてくださり、主役である子供たちと、それを支える大人が一つになって作り上げた運動会でした。すばらしい運動会を終え、子供たちに伝えたいことがあります。それは、「運動会が目的なのではなく、運動会への取組を通して**成長することが目的**」だということです。これからの頑張りをしっかりと見ていきたいと思います。

清書（運動会）

六年生のみんなたちが軸になって
ゴミのない体育会を築いたことを
どうか　一生涯　忘れてくれるな
だが　みんなたちよ
きょうの体育会は立派であったが
きょうは清書ではないんだ
清書は
あすからのみんなのくらしだ
あすからの学校での　勉強
家でのくらしの　がんばり
学校での行き帰りの在り方
それが清書になるんだということを
どうか　忘れてくれるな

東井義雄